

窪田議員（良政会）

平成 24 年 2 月 28 日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）ICTを活用した教育活動の推進について

昨年、人づくり強化・国際貢献対策特別委員会の現地調査で、香港と深センを訪問し、特に、ICTを活用した先進的な教育の取組を中心に調査を行った。

訪問した小学校で3年生の英語の授業を参観したところ、教室では、33人の児童全員の机の上にパソコンが置かれ、ベテランで優秀な担当教師が、児童のパソコンと双方でつながっている電子ホワイトボードを最大限活用して全て英語により指導を行っていた。

ICTを活用した教育の効果として、児童は、常に興味関心を持って学習することができ、また、パソコン画面に映し出された写真などにより、観察などが容易になり、児童の一層の理解を深めることが可能となる。さらに、児童が自宅で英語のテキストを復習する場合には、教師が音読した音声も同時に聞くことができるなど、英語ができない児童でも自分で勉強することができることなどが考えられる。

また、英語教育にとって必要なことは、単語や文法を覚えることだけでなく、声を出して、時には身振り手振りのジェスチャーで表現し、コミュニケーション能力を高めることも大切であり、そのためのツールとして、ITやICTが重要である。

児童生徒の学力向上や教員の指導力向上を図るためには、ICT機器を活用した教育活動を積極的に推進する必要があると考えるが、このことについて、今後どのように取り組もうとしているのか、所見を伺う。

（答）

新学習指導要領では、児童生徒に確かな学力を身に付けさせるため、生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにすることが重要であるという考え方が示されております。

そのため、例えば、小学校の外国語活動や中学校の外国語科におきまして、電子黒板などを活用して、リズムやイントネーションを繰り返し練習させたり、写真や映像を効果的に用いたりするなど、ICTを活用して授業を工夫しているところでございます。

また、初任者研修において、ICTを活用した授業づくりについて指導するとともに、県立教育センターでは、コンピュータや電子黒板を活用した授業の方法などについて専門的な研修を実施し、教員の指導力の向上を図っているところでございます。

教育委員会といたしましては、引き続き、教育センターなどによる研修の充実を図るとともに、研究公開を行った学校の優れた取組を広く普及することによって、ICTを活用した教育活動を推進して参ります。